

第14回 白馬村地域公共交通会議議事録（要旨）

1. 開催日 平成24年10月3日（水） 10時30分～11時00分
2. 場所 白馬村会議室
3. 出席者 太田委員、堀田委員（代理）、長澤委員（代理）、宮澤委員、勝野委員、上條委員、松沢委員、風間委員、中村委員（代理）、速水委員、渡邊委員、高橋委員（代理）、海端委員、小林委員、倉科委員、平林委員、篠崎委員
4. 事務局 横川総務課長、矢口総務課企画調査係長
5. 関係職員 山岸観光農政課観光特産係長、鈴木住民福祉課主査、太田観光局派遣主事
6. 配布資料

資料1 : 平成24年度ナイトシャトルバス「元気号」運行計画（案）

資料2 : 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っている証明書（案）

当日配布資料：

出席者名簿

7. 議事経過

(1) 開会

風間副会長

第14回白馬村地域公共交通会議開会のことばを述べた。

(2) あいさつ

太田会長

村内では秋の収穫時期を迎えている。観光面では1月～8月までの入り込み数が前年比3.8%の増加となっているが、日本と中国との関係悪化がインバウンド事業の推進に悪影響を及ぼすことを懸念している。国際的な関係改善が図られ、海外から大勢のお客様がお越しいただけることを願っている。

当村の行っている地域公共交通確保事業のうち、デマンドタクシー事業については、4月～8月の実績で3,374人（前年比9.1%増）になっており、着実に利用実績が上がっている。今後到来する高齢化社会に向けて、デマンドタクシーの必要性は更に高まってくると予想されることから、研究を重ねながら運行を継続していきたい。

本日は、ナイトシャトルバス事業の運行計画について協議いただくことになっているので、慎重審議をお願いしたい旨あいさつした。

(3) 報告事項

事務局・矢口

本日の出席委員について、出席者名簿により報告した。なお、任期満了に伴う公募委員について募集を行ったところ、応募者がなかったことから、速水委員、渡邊委員を村長指名委員として、再委嘱させていただくことになった旨の説明があった。

(4) 協議事項

規約に従い太田会長が議長となり議事を進行した。

太田会長

協議事項(1) 平成 24 年度ナイトシャトルバス元気号の運行計画（案）について、担当委員の説明を求めた。

平林委員

平成 24 年度冬季のナイトシャトルバスの運行計画について、別添資料 1～8 及び参考資料に基づいて説明した。本年度から国の補助金がなくなることも踏まえ、昨年運行した 3 ルートのうちレッドラインを廃止しブルー・グリーンの 2 ルートとすること、運行期間を平成 24 年 12 月 22 日から平成 25 年 2 月 28 日とすること、運行経費捻出のため協賛企業等を募ることと等について説明があった。

〔詳細は配布資料参照〕

太田会長

ナイトシャトルバスの運行計画案について質疑を求めた。

風間委員

今冬のインバウンド事業（外国人の入込み）の見込みについて質問があった。

篠崎委員

白馬を訪れる外国人の 50% はオーストラリア人である。5 月に行ったオーストラリアをターゲットとした商談会では動きは良かったことから、外国人観光客はそこそに戻りつつある。個人手配が多いことから不透明な部分もあるが、感触としては昨年より増える見通しである。アジア圏については、特に中国・韓国の反日感情の影響が懸念されるが、全体に占める割合は 27% ほどであることから、限定的な影響と思われる旨の説明があった。

堀田委員（代理：田川）

シャトルバス事業に対する村の負担額について質問があった。

事務局・矢口

本年度の予算については、運行に係る経費として 350 万円を計上している。これは、昨年までの運行経費の全体額から、運賃収入、国庫補助金等を控除した実質的な村負担額と同額である。今年からなくなった国庫補助分について、その全てを村費（税金）で賄うのではなく、ルートの見直しや協賛金の募集等で捻出していく計画である旨の説明があった。

高橋委員（代理：白砂）

廃止予定のレッドラインの停留所には庄屋まるはちが入っている。かつて観光ルネッサ

ンス事業（国庫補助）により庄屋まるはちを整備した経過もあることから、廃止に至った理由について質問があった。

平林委員

今年度から国庫補助金がなくなることも踏まえてルートや停留所の見直しを行った。全ルートを残せば理想であるが、特に庄屋まるはちを含む北部ルートは、利用実績が非常に低く収益性も上がらないことから、やむなく廃止することとしたい旨の説明があった。

太田会長

その他、質疑・意見を求めたが、特段発言がなかったことから、平成 24 年度ナイトシャトルバス元気号の運行計画（案）の承認について委員に諮った。

委員全員の挙手により、平成 24 年度ナイトシャトルバス元気号の運行計画（案）は原案どおり承認された。

太田会長

その他協議事項について、委員、事務局に発言を求めたが、特段協議を求める発言はなかったことから、審議を打ち切った。

（5）その他

事務局・矢口

次回会議について、デマンドタクシーの事業計画審議のため、翌年 2 月頃に開催したい旨の説明があった。

（6）閉 会

風間副会長

閉会のことばを述べ、会議を閉じた。